

令和4年3月14日

盛岡市新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 盛岡市長 谷 藤 裕 明 様

新型コロナウイルス感染症
対策に関する要望書
(第9回)

盛岡市議会災害対策会議

盛岡市議会議長 竹 田 浩 久

1 情報提供・情報共有

- (1) 3回目のワクチン接種を市民が安心して受けられるよう、副反応を含め積極的な広報に努めること。
- (2) 2回のワクチン接種後に感染した市民の割合を可能な限り広報すること。
- (3) 5歳から11歳の小児を対象としたワクチン接種について、ワクチンの安全性や副反応、リスクなどのさらなる情報提供と相談窓口の充実を図ること。
- (4) オミクロン株の特性に応じた感染対策について、これまで以上に市民に分かりやすく、丁寧、迅速、的確に伝わるよう、情報発信に努めること。
- (5) マスクの正しい着用や手指消毒、換気などの基本的な感染対策の周知徹底を図ること。
- (6) PCR検査等の受診にあたり、相乗りを極力避けるなどの注意点の周知徹底を図ること。

2 感染症対策・医療体制強化

- (1) 3回目のワクチン接種を円滑かつ早期・確実に実施すること。
- (2) 東京都墨田区の取り組みを参考に、保健所体制の強化を図ること。

- (3) 濃厚接触者の特定からPCR検査，陽性確認，療養までの一連の時間が短縮できるような体制の強化を図ること。
- (4) やむを得ず自宅療養となった方に対する訪問診療や訪問看護などの支援体制を確保すること。
- (5) 訪問介護事業者へ支援金を支給し，陽性者や濃厚接触者への介護サービスが継続できるよう支援を行うこと。
- (6) 重症化リスクのある患者を対象とする経口治療薬や中和抗体薬を迅速に投与できる体制を確保すること。
- (7) 検査キットの確保や検査体制の拡充を図るとともに，学校や施設に配布した抗原検査キットの転用や医療機関への寄附など，柔軟な対応をとること。
- (8) 医療機関，高齢者施設，保育施設，学校等で定期的に検査を実施すること。
- (9) ワクチン・検査パッケージ制度を活用した，無料で受診できるPCR検査を拡充・継続すること。

3 経済・雇用対策

- (1) 令和4年度に向けて新たな経済対策を計画すること。
- (2) バス・タクシー事業の継続に向けた公共交通の利用促進のため，新規事業として全世帯に公共交通利用券を配布する公共交通利用券事業を実施すること。

- (3) 路線バス・貸し切りバス事業者に対し、再度、支援を行うこと。

4 市民支援

- (1) 市民からの問い合わせに、引き続き丁寧で優しく、分かりやすい対応に努めること。
- (2) 自宅療養者に、同居家族等の生活環境に応じて、食料や生活必需品の配給等の必要な支援を行うこと。
- (3) 生活福祉資金の特例貸付、生活困窮者自立支援金、住宅確保給付金等の活用を推進すること。また、支援の対象となっていない生活困窮者への支援を国や県に対して求めること。
- (4) 米価暴落が繰り返されないため、在庫米を市場から切り離すことを国に強く要望し、生活困窮者の支援に振り向けること。

5 子ども・子育て支援

- (1) 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金について、保護者等に積極的に周知すること。

6 教育支援

- (1) 学校施設でクラスターが発生している場合であっても、分散登校やリモート授業など教育機会の確保に努めること。

- (2) 外出自粛により児童生徒が登校できない場合であっても、オンラインでホームルームや授業などを視聴できるようにすること。
- (3) 感染対策として、引き続き学校の各教室に二酸化炭素濃度測定器の設置に努めること。

7 その他

- (1) 新型コロナウイルスは、新型インフルエンザ等対策特別措置法上、感染症法における第2類相当となっているが、第5類とするよう国に要望すること。